

もぐら

打ち



▲もぐら打ちに参加した土居二区の方々。

藤川秀樹区長は、「近年は、担い手となる若者や子どもの参加が減ってきている。このような地域行事に参加することによりコミュニティ強化にも繋がるため、多くの住民の参加を望んでいる。今後も伝統行事を絶やさぬように尽力したい」と力強く話されました。

「もぐら打ち」という信仰行事
小 正月の前日となる1月14日早朝。「14日のもぐら打ちいー。」
「五穀豊穣おー。家内安全ー。」という掛け声が夜空にこだまする。土居二区で毎年恒例の伝統行事「もぐら打ち」が行われました。長さ約3m未満の竹の先端にわらを巻き付けた棒で地面を叩きつけ、地面のもぐらを追い出し、五穀豊穣・無病息災・家内安全を願います。かつては全国各地で行われたもぐら打ち。しかし今では、九州各県でもわずかな地域で行われるのみであり、桂川町内においては現在、土居二区だけとなっています。

「もぐら打ち」という信仰行事

小 正月の前日となる1月14日早朝。「14日のもぐら打ちいー。」